

公開講座

「戦雲(いくさふむ)」上映会

映画公式サイト: <https://ikusafumu.jp/>

三上智恵監督の「戦雲(いくさふむ)」を上映します

沖縄南西諸島の現状を伝える映画を鑑賞し、平和について考えてみませんか



(C)2024『戦雲』製作委員会

日時: 11月29日(土) 13時30分～16時

場所: 川崎市教育文化会館 6階 大会議室

定員: 100名(先着順)

受付: 11月28日(金) 17時まで(先着順にて現在受付中です)



電話 044-233-6361 (8:30～21:00、休館日11/17を除く) または [申込フォーム](#) ↑ から



監督:三上智恵(みかみ・ちえ)

映画監督、ジャーナリスト。1987年、アナウンサー職で毎日放送に入社。95年、琉球朝日放送の開局時に沖縄に移住。同局のローカルワイドニュース番組のメインキャスターを務めながら、「海にすわる～辺野古600日の闘い～」「1945～島は戦場だった オキナワ365日～」「英霊が犬死か～沖縄から問う靖国裁判～」など、沖縄の文化、自然、社会をテーマに多くのドキュメンタリー番組を制作。2010年、日本女性放送者懇談会放送ウーマン賞を受賞。12年に制作した「標的の村～国に訴えられた沖縄・高江の住民たち～」は、ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞、座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル大賞など多くの賞を受賞。

13年に映画版『標的の村』で映画監督デビュー。14年にフリー転身。15年に『戦場ぬ止み』、17年に『標的の島 風かたか』、18年に『沖縄スパイ戦史』(大矢英代氏と共同監督)を発表。

著書に「戦場ぬ止み 辺野古・高江からの祈り」(大月書店)、「女子力で読み解く基地神話」(島洋子氏との共著/かもがわ出版)、「風かたか『標的の島』撮影記」(大月書店)など。「証言 沖縄スパイ戦史」(集英社新書)で石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞 草の根民主主義部門 大賞、城山三郎賞、JCJ賞を受賞。24年1月17日に「戦雲 要塞化する沖縄、島々の記録」(集英社新書)を上梓。

◇フィルモグラフィ&賞歴

『標的の村』 2013年 | 日本 | 91分

山形国際ドキュメンタリー映画祭2013アジア千波万波部門正式招待 市民賞&日本映画監督協会賞/日本映画撮影監督協会第22回JSC賞/第87回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位ほか

『戦場ぬ止み(いくさばぬとどうみ)』 2015年 | 日本 | 129分

山形国際ドキュメンタリー映画祭2015インターナショナルコンペティション正式招待/釜山国際映画祭2015ワイドアングル部門ドキュメンタリー・コンペティション正式招待/第89回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第2位ほか

『標的の島 風(かじ)かたか』 2017年 | 日本 | 119分

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017特別招待/第91回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第2位ほか

『沖縄スパイ戦史』 2018 | 日本 | 114分 *大矢英代氏と共同監督

釜山国際映画祭2018ワイドアングル部門ドキュメンタリーショーケース正式招待/山形国際ドキュメンタリー映画祭2019日本プログラム部門正式招待/第92回キネマ旬報ベスト・テン文化映画第1位/日本映画ペンクラブ賞2018年文化映画部門ベスト1/第42回山路ふみ子映画賞文化賞/文化庁映画賞文化記録映画部門優秀賞ほか

★本公開講座は平和・人権・男女平等推進学習「戦後80年 戦争と平和を考える」講座内で開催します

《会場 川崎市教育文化会館へのアクセス》



◎JR川崎駅東口よりバス

11番・12番・13番・14番・15番乗り場から
乗車4つ目(特急・急行は不可)
「カルッツかわさき・富士見公園前」下車

※川04/川05/川07/川10/川13系統バスは
「カルッツかわさき・富士見公園前」に停車
します。

詳細は川崎市市バスナビでご確認ください。